

第3回定例研究会

「上方文化の深遠～書画に遊び生活を愉しむ～」

第3回定例研究会は、大阪商業大学准教授である明尾 圭造 氏をお招きし、「上方文化の深遠～書画に遊び生活を愉しむ～」というテーマで講演いただきました。

講師

明尾 圭造 氏（大阪商業大学准教授）

指定討論者

鷲原 知良 氏（佛教大学講師）

宮崎 もも 氏（大和文華館学芸員）

コーディネーター

管 宗次（武庫川女子大学日本語日本文学科教授・生活美学研究所研究員）

テーマ

「上方文化の深遠～書画に遊び生活を愉しむ～」

講演日

2016年11月12日（土）13:00～16:00 受付開始 12:30

※申し込み不要

場所

武庫川女子大学 学術研究交流館（IR）1階 101

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

問い合わせ先

武庫川女子大学生活美学研究所

TEL：0798-67-1291

NEWS LETTER VOL.114

生活美学研究所では、毎年定例テーマを定め、そのテーマに基づいた研究会を開催しております。103年度の年間統一テーマは「遊（ゆ）」です。

第3回定例研究会 通算157回

2016/11/12(土) 13:00～16:00
(受付開始 12:30)

上方文化の深遠
～書画に遊び生活を愉しむ～
明尾 圭造 氏（大阪商業大学准教授）

今では、忘れられてしまった感がある大阪圏域の存在。実は、自ら愉しむ「自遊」の文化を掘直すことによって豊えてくる新たな大阪像があるのではないかと、様々な絵画表現や鑑賞の在り方を紹介し、上方文化の奥行きを深さを考えてみたい。

豊後屋「萬津宮」(個人蔵)

【講師プロフィール】

1961年布施市（現東大阪市）生まれ。

芦屋市立美術博物館学芸課長を経て大阪商

業大学総合経営学部准教授・同商業史博物館主席学芸員。

関西大学大学院博士前期課程修了。専門は日本近世文化史・大阪画壇。

共著書『モダニズム出版社の光芒』（淡交社）、『モダン道頓堀探検』（創元社）、

『古地図で見る阪神間の地名』（神戸新聞総合出版センター）、

企画担当展覧会「阪神間モダニズム」「モダニズムを生きる女性」

「伊勢物語と芦屋」「浪花慕情―菅楯彦とその世界」など。

